

のり海況速報 第12報 (23-12)

平成24年 3月23日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 3/22：内湾(わかふさ)、3/14：内房北部(ふさみ丸)
 関東・東海海況速報、東京湾口海況図・ふさなみ航走水温データ(2/23-3/23)
 拓南観測データ(11/1-3/22)
 モニタリングポスト(3/22：国交省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】

内湾の表層水温(図1)はほぼ全域で11~12℃台になっています。

一方、内房北部の表層水温は沖合水の影響によって、ほぼ12~15℃台になっています。新富津から下洲ベタ流し漁場周辺で水温14℃台の水塊がみられ、その沖合(st. 10)では水温14℃以上、塩分34に近い水塊が表層付近まで湧昇しています(図2)。その後は徐々に弱まり、小康状態になっていますので、この影響は少ない模様です。

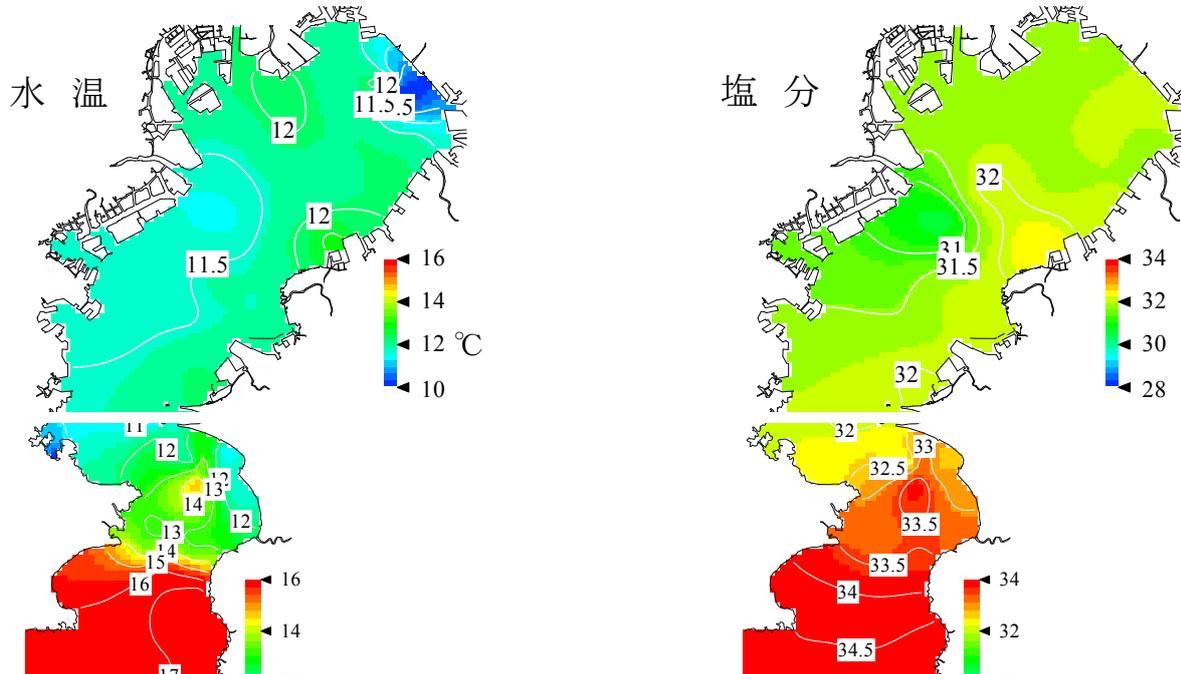


図1 表層の水温・塩分分布 (内湾~内房北部：平成24年 3月14, 22日)

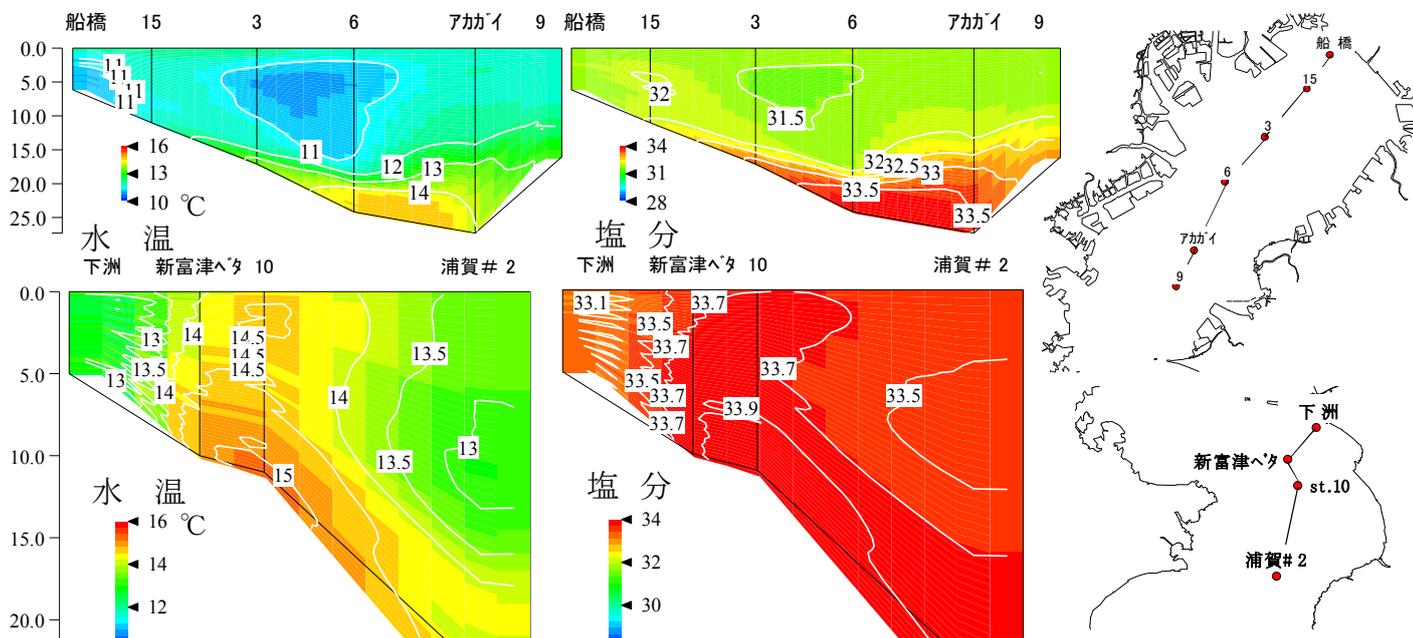


図2 断面の水温・塩分の鉛直分布(平成24年 3月14, 22日)
 (上：内湾(3/22)、下：内房北部(3/14)、右：調査ライン)

【赤潮・栄養塩の状況】

赤潮は湾奥部の千葉県側で発生し、千葉北部地区のノリ漁場周辺ではpHは8.5に上昇、透明度は2m台に低下し、水色もやや褐色を呈しています。優占種はケイ藻のスケルトネマとノリの色落ち被害をもたらすユーカンピアで、ディチウムも多くみられています。

表層の栄養塩(図3)は窒素(DIN)は十分にありますが、リン(DIP)が内湾で非常に少なくなっています。各地先(図4)もノリの色落ちが心配される濃度になっていますので、今後の動向には注意が必要です。

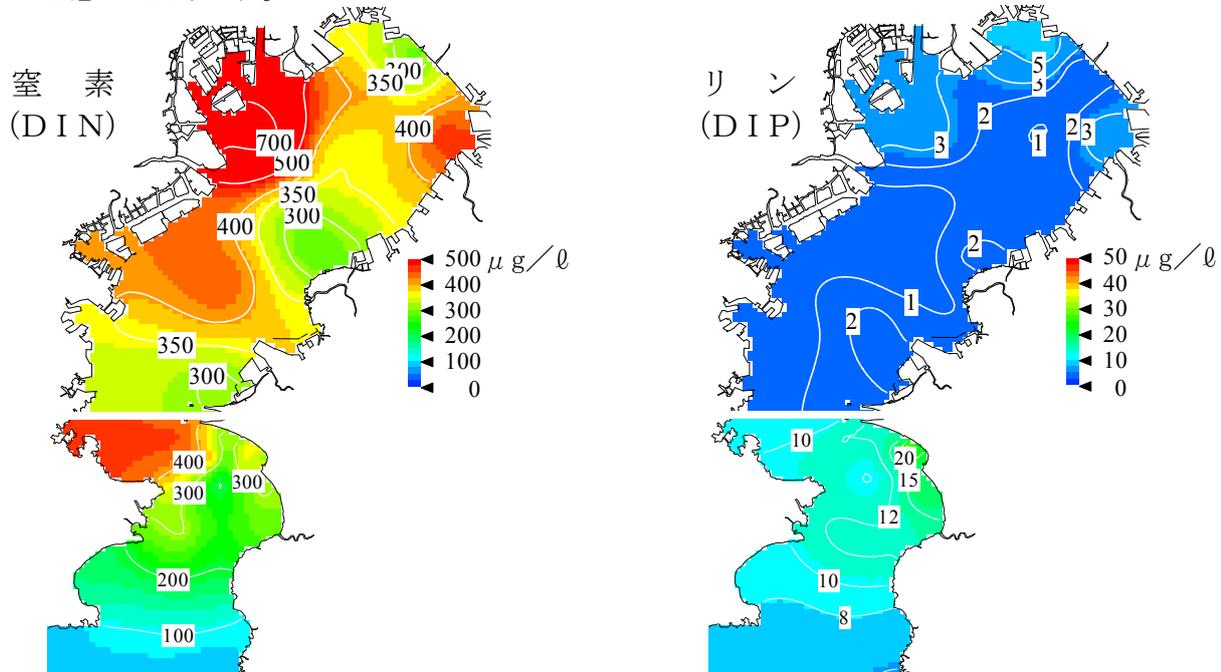


図3 表層の栄養塩濃度の分布 (内湾～内房北部：平成24年3月14, 22日)

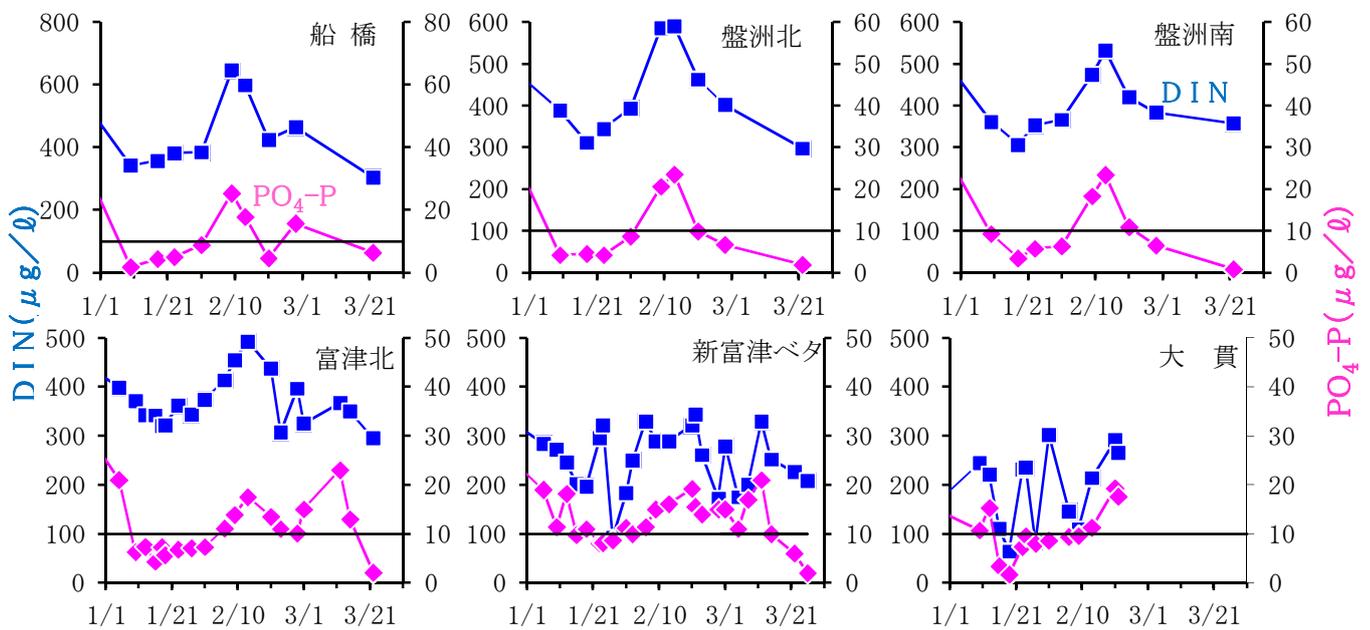


図4 各地先における栄養塩濃度の経過 (表層：平成24年1月1日～24年3月22日)

川養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各川養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報しています。パソコンまたは携帯の検索サイトで”川養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン：http://wwwp.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯：http://wwwp.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html